

## 10.12. 人と自然との触れ合いの活動の場



10.12.1. 飛行場の存在及び航空機の運航による  
主要な人と自然との触れ合いの活動の場

## 小目次

<b>10.12. 人と自然との触れ合いの活動の場</b> .....	<b>10.12.1-1</b>
<b>10.12.1. 飛行場の存在及び航空機の運航による           主要な人と自然との触れ合いの活動の場</b> .....	<b>10.12.1-1</b>
(1) 調査 .....	10.12.1-1
1) 調査項目 .....	10.12.1-1
2) 調査地域 .....	10.12.1-1
3) 調査方法等 .....	10.12.1-1
ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況 .....	10.12.1-1
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況 及び利用環境の状況 .....	10.12.1-1
4) 調査結果 .....	10.12.1-6
ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況 .....	10.12.1-6
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況 及び利用環境の状況 .....	10.12.1-6
(2) 予測 .....	10.12.1-27
1) 予測事項 .....	10.12.1-27
2) 予測概要 .....	10.12.1-27
3) 予測方法 .....	10.12.1-28
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度 .....	10.12.1-29
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化 .....	10.12.1-29
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化 .....	10.12.1-29
4) 予測結果 .....	10.12.1-30
ア. No.1  十余三  東雲の丘 .....	10.12.1-31
イ. No.2  里山遊歩道 .....	10.12.1-32
ウ. No.3  場外放水路水辺環境 .....	10.12.1-33
エ. No.4  さくらの山 .....	10.12.1-34
オ. No.5  南三里塚遊歩道 .....	10.12.1-35
カ. No.6  三里塚さくらの丘 .....	10.12.1-36
キ. No.7  ひこうきの丘 .....	10.12.1-37
ク. No.8  芝山水辺の里 .....	10.12.1-38
ケ. No.9  グリーンポート エコ・アグリパーク .....	10.12.1-39
コ. No.10  朝倉やすらぎの杜 .....	10.12.1-39
サ. No.11  芝山湧水の里 .....	10.12.1-40
シ. No.12  大関台果樹園 .....	10.12.1-40
ス. No.13  香山新田里山施設 .....	10.12.1-40
セ. No.14  千葉県サイクリングロード (409 佐原我孫子自転車道線) .....	10.12.1-41
リ. No.15  マリンピアくりやまがわ .....	10.12.1-42
タ. No.16  屋形海水浴場 .....	10.12.1-43
チ. No.17  坂田城跡梅林 .....	10.12.1-44
(3) 環境保全措置 .....	10.12.1-45
1) 環境保全措置の検討の状況 .....	10.12.1-45
2) 検討結果の整理 .....	10.12.1-45
(4) 事後調査 .....	10.12.1-48
(5) 評価 .....	10.12.1-48
1) 回避又は低減に係る評価 .....	10.12.1-48

## 10.12. 人と自然との触れ合いの活動の場

### 10.12.1. 飛行場の存在及び航空機の運航による主要な人と自然との触れ合いの活動の場

#### (1) 調査

##### 1) 調査項目

飛行場の存在及び航空機の運航による主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査項目及び調査状況は、表 10.12.1-1 に示すとおりである。

表 10.12.1-1 調査項目及び調査状況

調査項目	文献その他の資料調査	現地調査
人と自然との触れ合いの活動の場の概況	○	—
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況	—	○

##### 2) 調査地域

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル[Ⅱ]」（1999年（平成11年）建設省都市局都市計画課）によると、『標準的な面整備事業において、「主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る影響を受けるおそれがあると認められる地域」は、事業実施区域及びその周辺約500m程度と考える』とされている。そのため、調査地域は図10.12.1-1に示すとおり、対象事業実施区域の周囲約500mの範囲とした。ただし、事業による航空機騒音の増加に伴い人と自然との触れ合いの活動の場への影響が生じると考えられる地点については、この範囲を超える地点も選定した。

##### 3) 調査方法等

#### ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

##### (ア) 文献その他の資料調査

関係市町へのヒアリング及び観光案内図等による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析による方法とした。文献その他の資料調査の対象資料は、参考資料表2.12-2に示すとおりである（参考資料2.12-1～2.12-2ページ）。

#### イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

##### (イ) 現地調査

##### ア) 調査地点

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点は、文献その他の資料調査で確認された52地点のうち、現地踏査及びヒアリングによって「自然観察」等といった人と自然との触れ合いの活動がなされている地点と判断された、表10.12.1-2及び図10.12.1-1に示す17地点とした。調査地点は、調査地域のうち、公園や遊歩道等の人と自然との触れ合いの活動が行われると考えられる地点とした。ただし、事業による航空機騒音の増加に伴い人と自然との触れ合いの活動の場への影響が生じると考えられる地点については、この範囲を超える地点も選定した。

表 10.12.1-2 調査地点（人と自然との触れ合いの活動の場）

No.	名称	所在地	所有者又は設置者	調査時期 <sup>※1</sup>	
				4季	イベント <sup>※2</sup>
1	十余三 東雲の丘	千葉県成田市	設置者：NAA	○	—
2	里山遊歩道	千葉県成田市	設置者：NAA	○	—
3	場外放水路水辺環境	千葉県成田市	設置者：NAA	○	—
4	さくらの山	千葉県成田市	所有者：成田市	○	—
5	南三里塚遊歩道	千葉県成田市	設置者：NAA	○	—
6	三里塚さくらの丘	千葉県成田市	設置者：NAA	○	—
7	ひこうきの丘	千葉県山武郡 芝山町	所有者：芝山町	○	—
8	芝山水辺の里	千葉県山武郡 芝山町	所有者：芝山町	○	—
9	グリーンポート エコ・アグリパーク	千葉県山武郡 芝山町	設置者：NAA	○	○ (春季、秋季)
10	朝倉やすらぎの杜	千葉県山武郡 芝山町	設置者：NAA	○	—
11	芝山湧水の里	千葉県山武郡 芝山町	設置者：NAA	○	—
12	大関台果樹園	千葉県山武郡 芝山町	設置者：NAA	○	○ (秋季)
13	香山新田里山施設	千葉県山武郡 芝山町	設置者：NAA	○	—
14	千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）	千葉県成田市	所有者：千葉県	○	—
15	マリンピアくりやまがわ	千葉県山武郡横 芝光町	所有者：横芝光町	○	—
16	屋形海水浴場	千葉県山武郡横 芝光町	所有者：千葉県	○	—
17	坂田城跡梅林	千葉県山武郡横 芝光町	所有者：横芝光町	—	○ (冬季) <sup>※3</sup>

※1 ○：調査を実施した —：調査を実施していない

※2 グリーンポート エコ・アグリパークは田植え体験時（春季）と稲刈り体験時（秋季）、大関台果樹園は栗拾い体験時（秋季）、坂田城跡梅林は梅まつり（冬季）の調査を示す。

※3 坂田城跡梅林については、主要な人と自然との触れ合いの活動が梅の観察（植物観察）であるため、梅の開花時期であり来場者が最も多いと推察された「梅まつり」の日に限定し、補足的に調査を行った。

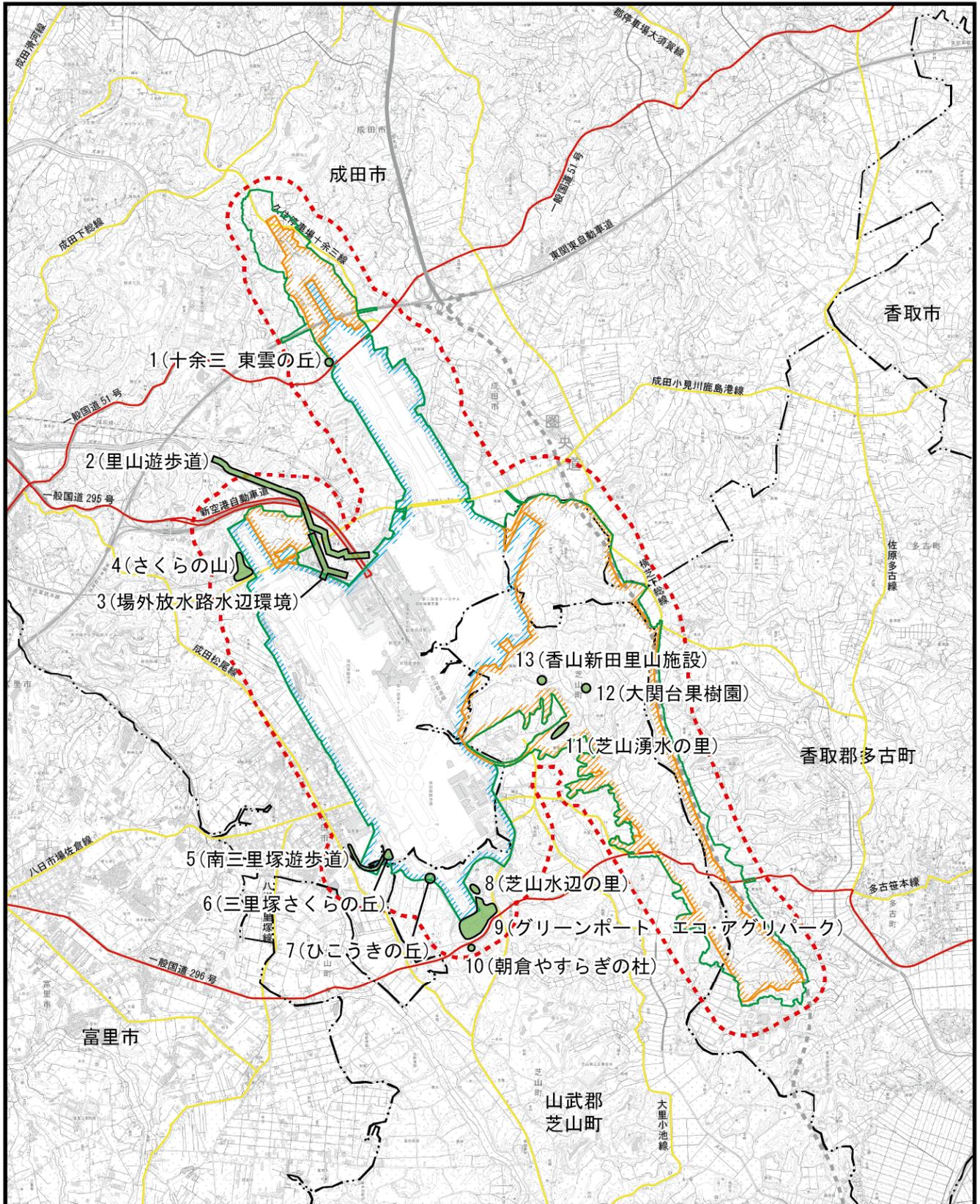
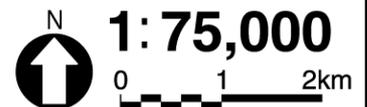
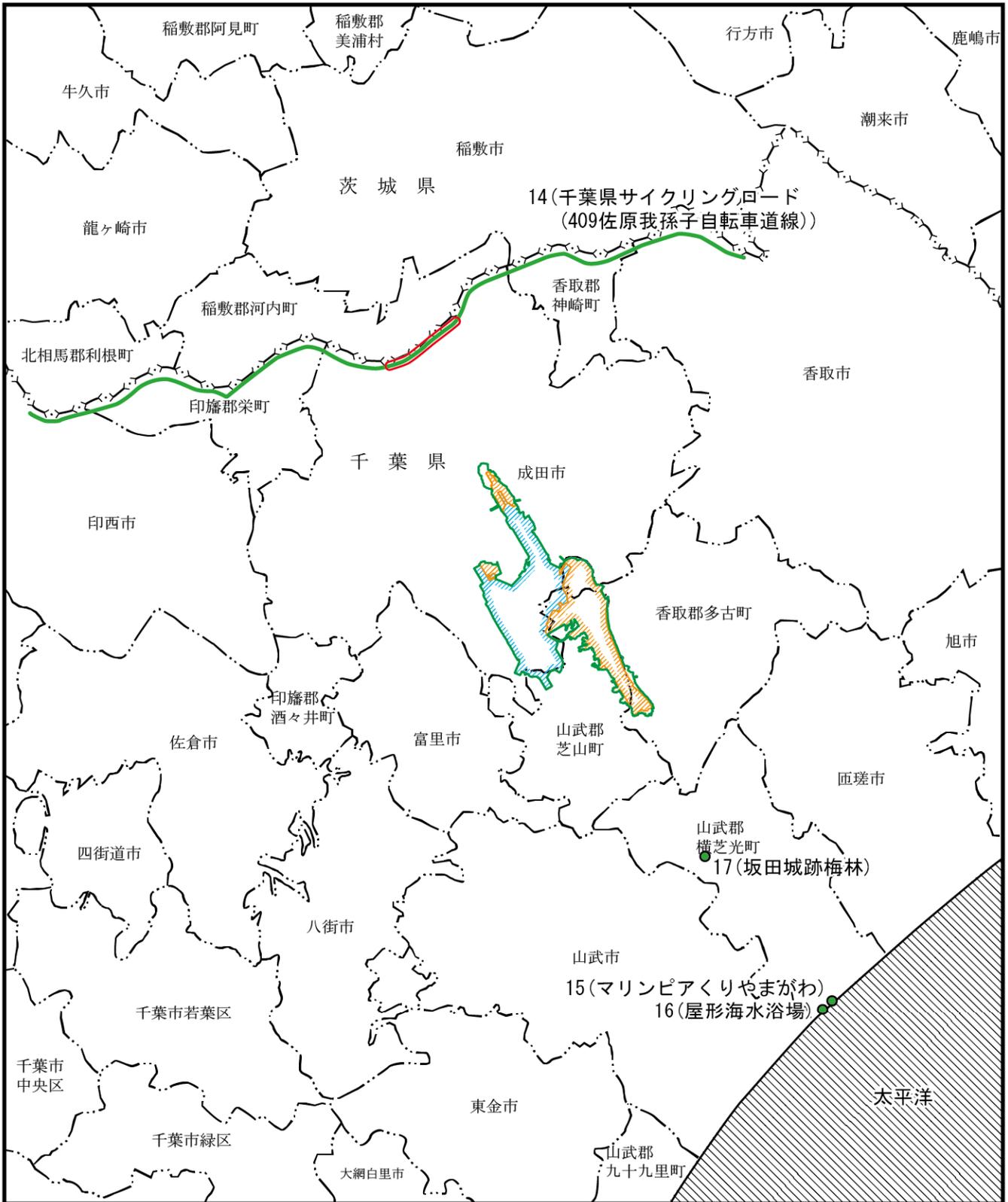


図10.12.1-1(1) 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点位置図

凡 例

- 空港区域
- 新たに空港となる区域
- 対象事業実施区域
- 市町村界
- 人と自然との触れ合いの活動の場調査地域
- 人と自然との触れ合いの活動の場(13地点)





凡 例

- 空港区域
- 新たに空港となる区域
- 対象事業実施区域
- 県 界
- 市町村界

人と自然との触れ合いの活動の場（4地点）

地点14 調査範囲

※地点14については、騒音の影響が増加すると考えられる範囲を対象とする

図10.12.1-1(2) 人と自然との触れ合いの活動の場調査点位置図



#### イ)調査日

人と自然との触れ合いの活動の場の調査時期は、夏季、秋季、冬季、春季の4季とし、各1回調査を行った。各調査時期の調査日は、表 10.12.1-3 に示すとおりである。

さらに、農業体験イベント等といった、人と自然との触れ合いの活動が行われる日についても、補足的に調査を行った。

表 10.12.1-3 調査時期及び調査日

調査時期		調査日		天候	備考
4 季	夏季	(No.1~13)	2016年(平成28年) 8月 21日(日)	晴れ	
		(No.14~16)	2017年(平成29年) 8月 6日(日)	晴れ	
	秋季	(No.1~16)	2016年(平成28年) 10月 22日(土)	曇り	
	冬季	(No.1~16)	2017年(平成29年) 1月 22日(日)	曇り	
	春季	(No.1~16)	2017年(平成29年) 4月 8日(土)	小雨	
イベント	(No.9)		2017年(平成29年) 5月 14日(日)	曇り	(春) 田植え体験
			2017年(平成29年) 9月 9日(土)	晴れ	(秋) 稲刈り体験
	(No.12)		2016年(平成28年) 10月 7日(金)	晴れ	(秋) 栗拾い
	(No.17)		2018年(平成30年) 3月 3日(土)	晴れ	(冬) 梅まつり

#### ウ)調査方法等

調査方法は現地踏査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析による方法とし、利用状況や利用環境の状況等を把握した。利用状況の把握は、1時間に1回、数取器等を用いて時刻別利用者数（以下、「利用者数」という。）を測定したほか、調査員が目視で活動内容を把握した。

なお、公園や遊歩道等で行われる一般的な人と自然との触れ合いの活動は散策等であり、日中の利用がほとんどであると考えられるため、調査時間については日照時間を考慮し、夏季、秋季、春季は9時~18時までの9時間、冬季は9時~17時までの8時間とした。イベント時についてはイベントが実施されている時間帯とした。

#### 4) 調査結果

##### ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

###### (ア) 文献その他の資料調査

文献その他の資料調査結果は、参考資料 表 2.12-3 に示すとおりであり、対象事業実施区域及びその周囲では人と自然との触れ合いの活動の場が48地点確認された(参考資料 2.12-2～2.12-3 ページ参照)。

##### イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

###### (ア) 現地調査

全地点における現地調査結果の概要は表 10.12.1-4 及び図 10.12.1-2 に、調査地点別の現地調査結果の概要は表 10.12.1-5～表 10.12.1-21 に示すとおりである。なお、現地調査結果の詳細は、参考資料 表 2.12-4～2.12-20 に示すとおりである(参考資料 2.12-4～2.12-22 ページ参照)。

全地点のうち、年間を通じて最大利用者数が非常に多かった地点は、「No.4 さくらの山」であった。また、「No.17 坂田城跡梅林」では冬季に行われた梅まつりで利用者数が非常に多かった。

「No.4 さくらの山」及び「No.17 坂田城跡梅林」を除くと、利用者数が多い時期があった地点は、「No.1 十余三 東雲の丘」、「No.6 三里塚さくらの丘」、「No.7 ひこうきの丘」、「No.15 マリンピアくりやまがわ」、「No.16 屋形海水浴場」であった。「No.1 十余三 東雲の丘」、「No.6 三里塚さくらの丘」及び「No.7 ひこうきの丘」については春季の利用者数が少なかったが、「No.1 十余三 東雲の丘」は冬季、「No.6 三里塚さくらの丘」及び「No.7 ひこうきの丘」は秋季の利用者数が多かった。「No.15 マリンピアくりやまがわ」及び「No.16 屋形海水浴場」については時期による利用者数の変化が大きく、夏季のみ多くの利用者を確認した。一方で、「No.3 場外放水路水辺環境」、「No.10 朝倉やすらぎの杜」、「No.11 芝山湧水の里」及び「No.13 香山新田里山施設」は年間を通じて利用者数が非常に少なく、あまり利用されていない地点である。また、「No.12 大関台果樹園」の利用者は4季調査では確認されず、年1回のイベント時にのみ利用が確認された地点である。また、「No.9 グリーンポート エコ・アグリパーク」における利用者数は中程度であり、「No.2 里山遊歩道」、「No.5 南三里塚遊歩道」、「No.8 芝山水辺の里」、「No.14 千葉県サイクリングロード(409 佐原我孫子自転車道線)」における利用者数は少なかった。

表 10.12.1-4 現地調査結果の概況

No.	地点名	日最大利用者数（人／日） <sup>※1,2</sup>							年間の最大利用者数の状況 <sup>※3</sup>
		4季				イベント			
		夏季	秋季	冬季	春季	秋季	冬季	春季	
1	十余三 東雲の丘	54	84	107	18	—	—	—	多い
2	里山遊歩道	7	16	5	8	—	—	—	少ない
3	場外放水路水辺環境	4	9	2	5	—	—	—	非常に少ない
4	さくらの山	294	241	391	509	—	—	—	非常に多い
5	南三里塚遊歩道	3	4	11	3	—	—	—	少ない
6	三里塚さくらの丘	25	122	47	8	—	—	—	多い
7	ひこうきの丘	56	108	72	32	—	—	—	多い
8	芝山水辺の里	0	40	7	2	—	—	—	少ない
9	グリーンポート エコ・アグリパーク	13	85	23	8	—	—	63	中程度
10	朝倉やすらぎの杜	2	0	4	0	—	—	—	非常に少ない
11	芝山湧水の里	2	2	2	0	—	—	—	非常に少ない
12	大関台果樹園	0	0	0	0	95	—	—	中程度
13	香山新田里山施設	0	2	1	2	—	—	—	非常に少ない
14	千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）	10	9	27	3	—	—	—	少ない
15	マリニピアくりやまがわ	103	8	6	4	—	—	—	多い
16	屋形海水浴場	203	48	21	6	—	—	—	多い
17	坂田城跡梅林	—	—	—	—	—	742	—	非常に多い

※1 利用者数の測定は毎時1回（夏季、秋季、春季は9時～18時の9時間、冬季は9時～17時の8時間）行っており、表は1日における利用者数の最大値を示す。

※2 —：調査を実施していないことを示す。

※3 他地点と比較し、最大利用者数が特に多かったさくらの山と坂田城跡梅林は「非常に多い」とし、これらの地点を除いた15地点については以下のとおり区分した。

非常に少ない：0～10人、少ない：11～50人、中程度：51～100人、多い：101～250人

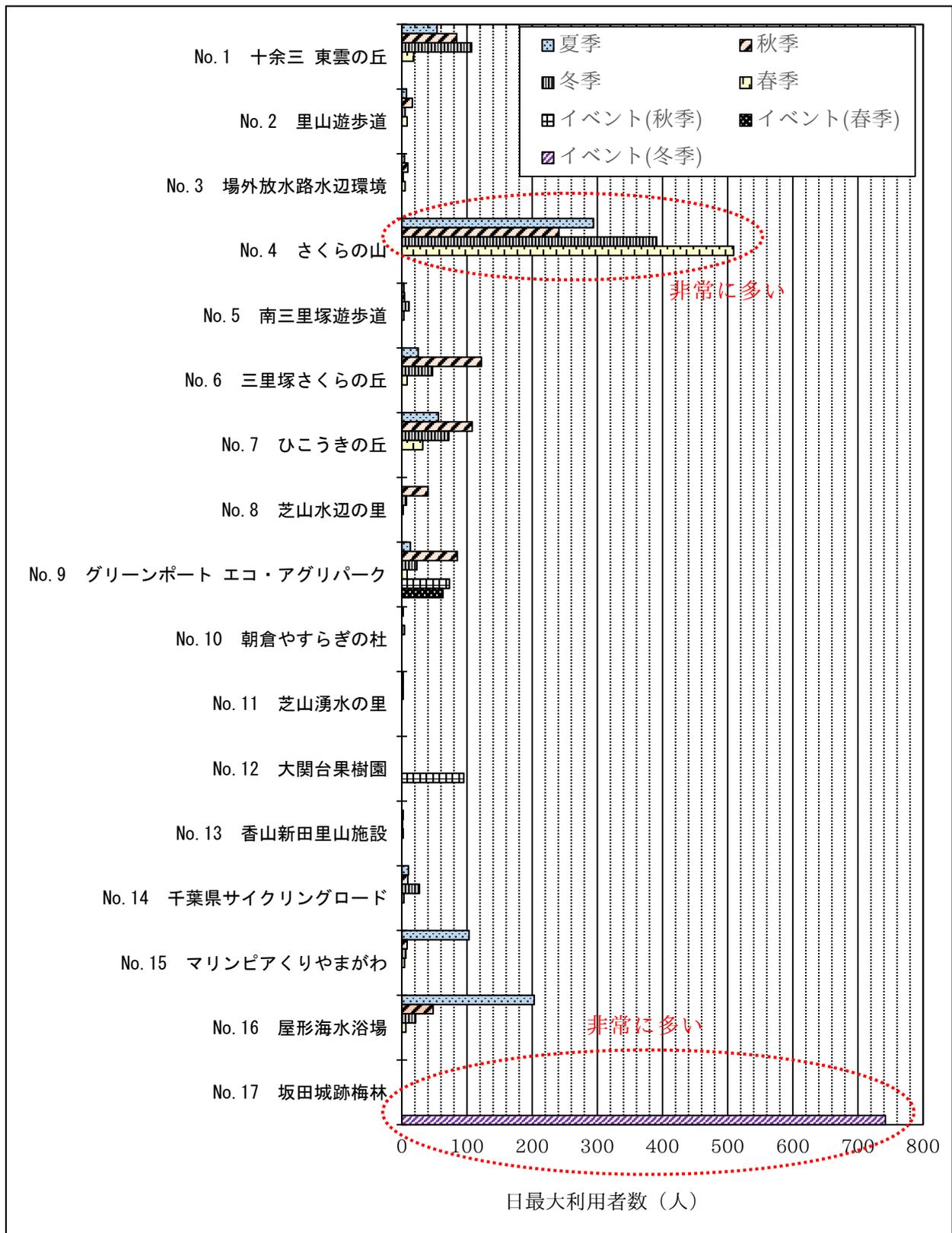


図 10.12.1-2(1) 日最大利用者数 (全地点)

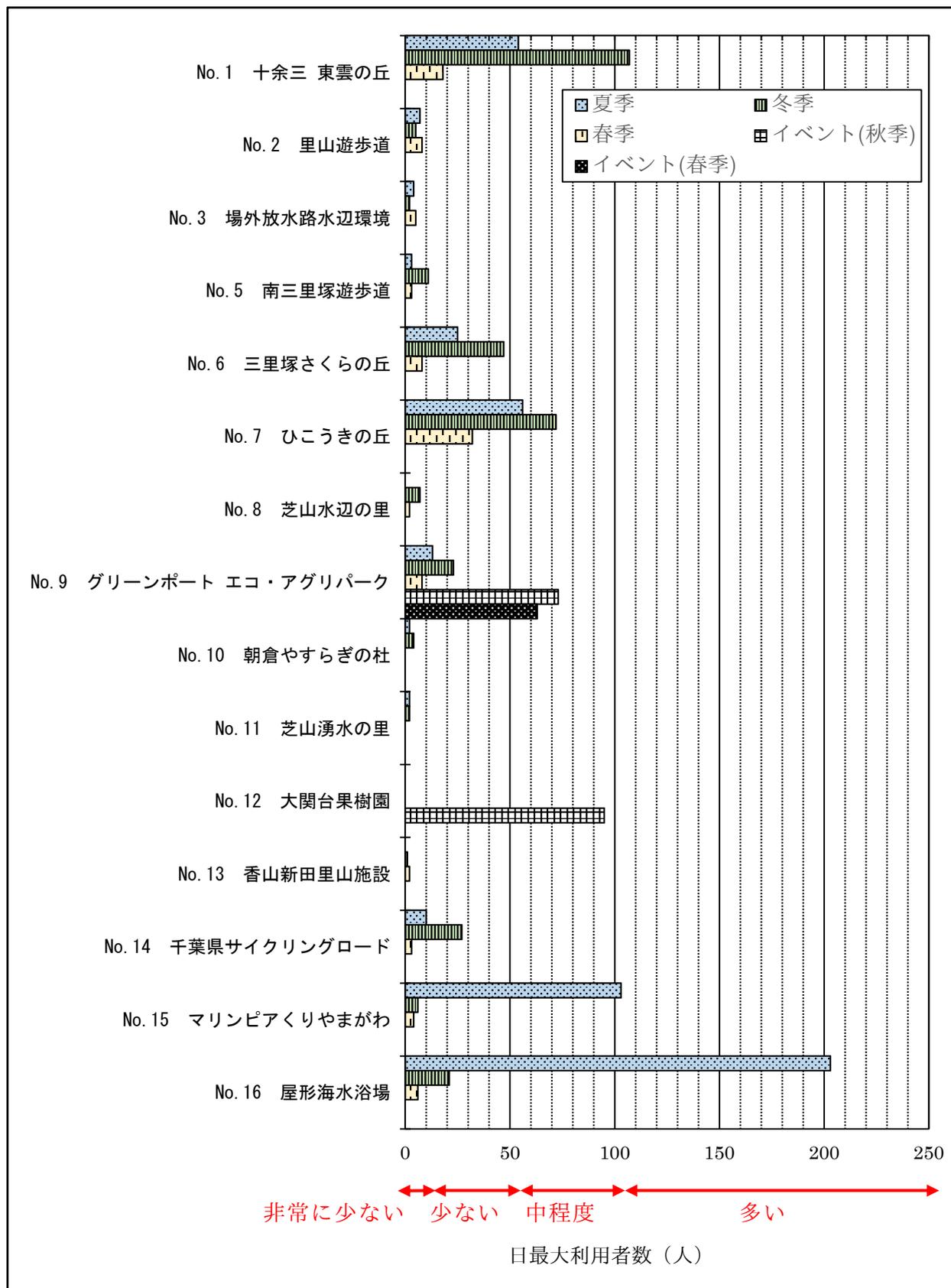


図 10.12.1-2(2) 日最大利用者数（さくらの山、坂田城跡梅林除く）

7)No.1 十余三 東雲の丘

十余三 東雲の丘は、B滑走路の西側に位置する眺望施設である。

4季調査では、毎時1回の測定において3~107人の利用者が確認され、利用者が多い地点であった。また、航空機を眺めている人等を確認した。

表 10.12.1-5 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（十余三 東雲の丘））

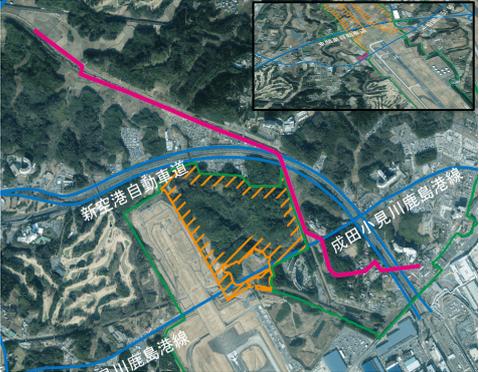
地点名	No.1 十余三 東雲の丘（設置者：NAA）			
＜利用環境＞		＜分布＞		
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成田空港 B滑走路の西側に位置する。</li> <li>・新たに空港となる区域までの距離は約 0.4km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B滑走路西側に航空機展望スポットとしてオープンした。地元の東小学校児童により命名され、航空機ファンのみならず地元住民からも親しまれる施設。</li> <li>・航空機の離着陸を間近で見ることができ、航空機撮影スポットとして利用されている。</li> <li>・周辺には田畑や B滑走路沿いの防音壁がある。</li> </ul>	 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場があり、63台駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 51号に面している。</li> </ul>				
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣には主に田畑等があり、B滑走路沿いの防音壁以外には眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> <li>・展望台からは、B滑走路に離着陸する航空機を眺望できる。</li> </ul>	＜利用状況＞			
■利用者数				
時刻	利用者数（人）			
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)
9時	7	33	8	8
10時	10	22	13	6
11時	15	23	48	3
12時	28	48	67	6
13時	45	84	75	13
14時	54	64	107	11
15時	54	63	85	13
16時	36	66	48	18
17時	53	25	—	17
■利用状況写真				
 <p style="text-align: center;">夏季</p>		 <p style="text-align: center;">秋季</p>		

## 1)No.2 里山遊歩道

里山遊歩道は、A滑走路の東側から北側に位置する遊歩道である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~16人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であった。また、散歩や運動等をしている人を確認した。

表 10.12.1-6 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（里山遊歩道））

地点名		No.2 里山遊歩道（設置者：NAA）			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 A 滑走路東側から北側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約 30m。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山を有効に活用するため、2005 年に千葉県、成田市、成田地区ホテル業協会、成田・里山を育てる会、NAA で整備した、場外放水路から 4km におよぶ遊歩道。</li> <li>遊歩道では、自然の中でのジョギングや散歩を楽しむことができ、四季を感じて散歩を楽しめるよう維持管理している。</li> <li>周辺には樹林等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はない。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に県道成田小見川鹿島港線や国道 295 号がある。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に谷部の水路沿いに整備された遊歩道であるため、近隣の斜面林を眺望できる。</li> <li>水路沿いに植栽された桜並木を眺望できる。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
		利用者数（人）			
時刻	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	5	9	5	0	
10時	3	16	3	4	
11時	4	15	3	3	
12時	7	4	5	8	
13時	4	15	4	6	
14時	0	6	3	4	
15時	0	11	5	5	
16時	5	6	1	1	
17時	1	1	—	0	
■利用状況写真					
 <p>秋季</p>			 <p>冬季</p>		

ウ)No.3 場外放水路水辺環境

場外放水路は、A滑走路の東側に位置する水路沿いの遊歩道である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~9人の利用者が確認され、利用者が非常に少ない地点であった。また、散歩や運動等をしている人を確認した。

表 10.12.1-7 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（場外放水路水辺環境））

地点名		No.3 場外放水路水辺環境（設置者：NAA）		
＜利用環境＞		＜分布＞		
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 A 滑走路の東側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約 30m。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空港北側の取香川へ通じる場外放水路では、コンクリートで覆われている水路を自然の川に近づける環境整備を行っている。</li> <li>川岸には、周辺住民をはじめとした方々からの寄付により植樹されたさくらの木（計 172 本）が順調に育ち、春の放水路を彩っている。</li> <li>周辺には樹林等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>		
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はない。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に県道成田小見川鹿島港線がある。</li> </ul>				
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に谷部の水路沿いに整備された遊歩道であるため、近隣の斜面林を眺望できる。</li> <li>水路沿いに植栽された桜並木を眺望できる。</li> </ul>				
＜利用状況＞				
■時刻別利用者人数				
時刻	利用者数（人）			
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)
9時	2	1	1	1
10時	1	9	2	0
11時	4	5	1	0
12時	0	1	1	5
13時	0	1	1	2
14時	1	0	1	0
15時	1	0	0	1
16時	1	0	0	2
17時	0	0	—	0
■利用状況写真				
 <p>夏季</p>		 <p>春季</p>		

I)No.4 さくらの山

さくらの山は、A滑走路の北西側に位置する緑地公園である。

4季調査では、毎時1回の測定において22~509人の利用者が確認され、利用者が非常に多い地点であった。また、航空機を眺めている人等を確認した。

表 10.12.1-8 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（さくらの山））

地点名	No.4 さくらの山（所有者：成田市）			
＜利用環境＞		＜分布＞		
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 A 滑走路の北側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約 0.4km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港の 4,000m 滑走路北側の小高い丘の上にある公園。</li> <li>成田市と NAA でさくらの木（計 250 本）を植栽しており、春には花見を楽しむ大勢の人たちでにぎわう。</li> <li>A 滑走路から発着する航空機を間近に見ることができる憩いの場として利用されている。</li> <li>2015 年（平成 27 年）3 月には「空の駅 さくら館」がオープンし、成田市の観光情報センターや地元で採れた新鮮野菜や手作りのお弁当、千葉のお米や、空港や成田ゆかりのお土産等を販売している。</li> <li>周辺には樹林やゴルフ場等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>		
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場があり、123 台駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県道成田小見川鹿島港線に面している。</li> </ul>				
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には樹林や空港、ゴルフ場等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> <li>展望台からは、A 滑走路に離着陸する航空機を眺めることができる。</li> </ul>				
＜利用状況＞				
■利用者数				
時刻	利用者数（人）			
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)
9 時	53	33	22	49
10 時	90	98	59	144
11 時	115	172	158	289
12 時	140	221	171	248
13 時	221	241	295	358
14 時	260	196	366	449
15 時	253	215	391	509
16 時	294	135	251	357
17 時	209	83	—	337
■利用状況写真				
 <p>秋季</p>		 <p>春季</p>		

㊦No.5 南三里塚遊歩道

南三里塚遊歩道は、A滑走路の南西側に位置する遊歩道である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~11人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であった。また、散歩等をしている人を確認した。

表 10.12.1-9 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（南三里塚遊歩道））

地点名		No.5 南三里塚遊歩道（設置者：NAA）			
＜利用環境＞		＜分布＞			
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 A 滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約 1.8km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「No.6 三里塚さくらの丘」に続く南三里塚遊歩道は既存林にウッドチップを敷きつめており、散策や森林浴を行うことができる。</li> <li>周辺には田畑や住宅等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場は無いが、三里塚さくらの丘の駐車場を利用できる。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県道に面しており、付近に県道成田松尾線、国道 296 号がある。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存林を活用して整備された散策路であるため、敷地内の樹木等を眺望できるが、樹林によって近隣の眺望は遮られている。</li> </ul>					
＜利用状況＞					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	0	2	1	2	
10時	0	0	4	0	
11時	3	0	11	1	
12時	1	2	1	2	
13時	1	1	4	0	
14時	0	4	1	0	
15時	1	1	3	2	
16時	2	1	8	3	
17時	3	0	—	2	
■利用状況写真					
 <p>夏季</p>		 <p>冬季</p>			

か)No.6 三里塚さくらの丘

三里塚さくらの丘は、A滑走路の南西側に位置する緑地公園である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~122人の利用者が確認され、利用者が多い地点であった。また、航空機を眺めている人を確認した。

表 10.12.1-10 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（三里塚さくらの丘））

地点名		No.6 三里塚さくらの丘（設置者：NAA）			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 A 滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約 1.8km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さくら（計 112 本）やツツジなどを植え、地域の憩いの場を目指した整備をしている。芝生の展望広場からは航空機ウォッチングが楽しめる。</li> <li>展望広場から対岸側の空港を望むと、管制塔や航空機の整備場施設のほか、A 滑走路から発着する航空機も間近に見えることから映画・テレビ撮影地としても活用されている。</li> <li>周辺には樹林やグラウンド等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場があり、39 台駐車可能。</li> <li>駐車場は南三里塚遊歩道の利用者也使用する。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県道に面しており、付近に県道成田松尾線、国道 296 号がある。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には樹林や空港、グラウンド等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> <li>展望台からは、A滑走路に離着陸する航空機を眺望できる。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9 時	1	4	5	2	
10 時	9	8	11	8	
11 時	19	21	9	6	
12 時	9	122	19	2	
13 時	9	94	12	0	
14 時	25	21	24	2	
15 時	6	36	47	6	
16 時	17	17	18	4	
17 時	14	12	—	7	
■利用状況写真					
 <p>夏季</p>			 <p>秋季</p>		

\*)No.7 ひこうきの丘

ひこうきの丘は、A滑走路の南側に位置する眺望施設である。

4季調査では、毎時1回の測定において5~108人の利用者が確認され、利用者が多い地点であった。また、航空機を眺めている人を確認した。

表 10.12.1-11 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（ひこうきの丘））

地点名		No.7 ひこうきの丘（所有者：芝山町）			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 A 滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約 2.9km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芝山町の新たな観光・撮影スポットとして、2016 年（平成 28 年）3 月 18 日より供用開始した。</li> <li>A 滑走路まで約 600m の距離に位置しており、上空を航空機が飛び交い一望できる。着陸時には、迫り来る航空機の大きさとその大迫力が体感できる、新たな観光・撮影スポットである。</li> <li>3 つの広場を兼ね備え、航空機の迫力を間近で体感できる憩いの場として、航空機ファン、年配の方や子供連れの家族など、幅広い方々に利用される。</li> <li>地面に大きい「ハート」の絵柄があり、その上で離着陸する航空機を背景に記念写真を撮影できる。</li> <li>周辺には田畑等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場があり、51 台駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空港周辺道路に面しており、付近に県道成田松尾線、国道 296 号がある。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には主に田畑等があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> <li>展望台からは、A 滑走路に離着陸する航空機を眺望できる。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9 時	5	70	20	11	
10 時	9	79	50	16	
11 時	49	85	43	19	
12 時	43	43	54	32	
13 時	56	75	53	7	
14 時	41	83	72	17	
15 時	42	108	50	6	
16 時	36	98	31	17	
17 時	55	53	—	20	
■利用状況写真					
 <p style="text-align: center;">秋季</p>			 <p style="text-align: center;">冬季</p>		

㌿No.8 芝山水辺の里

芝山水辺の里は、A滑走路の南側に位置する公園である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~40人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であった。また、自然観察等をしている人を確認した。

表 10.12.1-12 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（芝山水辺の里））

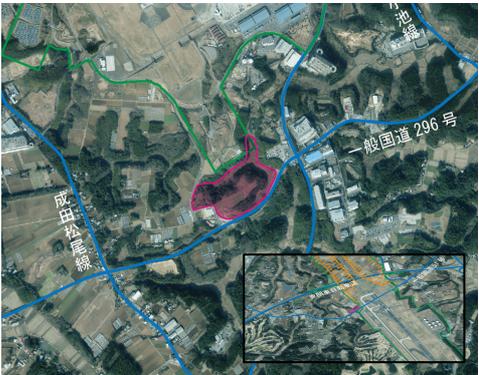
地点名		No.8 芝山水辺の里（所有者：芝山町）			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港A滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約1.8km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NAAの空港周辺緑化整備の一環として、空港の南側に整備された。滑走路南側の湿地にはアヤメ、キショウブ、スイレン等といった幾種類もの花木、水生植物が植えられており、ゆっくりとくつろぎながら観賞できるように遊歩道やベンチも整備している。</li> <li>四季を通じて自然植物を楽しむことができるほか、上流部や中流部ではウグイスなどの野鳥も見られる。</li> <li>周辺には樹林や民間の構造物等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場があり、30台駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に県道成田松尾線、国道296号がある。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川上流部の谷地及びその周囲に整備された公園であり、施設内の樹林等を眺望できるが、樹林等によって近隣の眺望は遮られている。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	0	1	1	0	
10時	0	3	0	1	
11時	0	40	3	0	
12時	0	40	2	0	
13時	0	1	2	2	
14時	0	0	7	1	
15時	0	38	4	0	
16時	0	0	0	0	
17時	0	0	—	0	
■利用状況写真					
 <p>秋季</p>			 <p>冬季</p>		

### ㌘No.9 グリーンポート エコ・アグリパーク

グリーンポート エコ・アグリパークは、A滑走路の南側に位置する施設である。4季調査では、毎時1回の測定において0~85人の利用者が確認され、利用者が中程度の地点であった。また、自然観察等をしている人を確認した。

また、2017年度（平成29年度）はNAA及び芝山町主催の農業体験イベントとして、春季に田植え体験、秋季に稲刈り体験が開催された。田植え体験では63人、稲刈り体験では73人が参加した。

表10.12.1-13 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（グリーンポート エコ・アグリパーク））

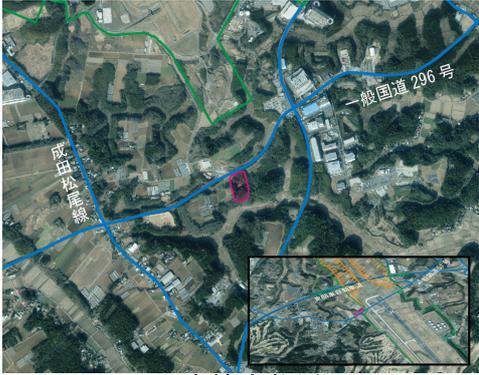
地点名		No.9 グリーンポート エコ・アグリパーク（設置者：NAA）				
		<利用環境>		<分布>		
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港A滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約1.8km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空港の南側（芝山町岩山地区）の「芝山水辺の里」に隣接する17ha（東京ドーム約4個分）のNAA所有地を活用して、ありのままの自然を活かした体験型自然公園であり、2007年（平成19年）に開園した。</li> <li>北総地域を代表する谷津地形を持ち、変化に富んだ環境となっており、多くの昆虫類をはじめ多種多様な動植物が生息している。</li> <li>地域の方々に散策の場として利用していただくほか、空港に隣接する芝山町と連携し、田植え・稲刈り体験や成田空港エコキッズ・クラブの自然観察教室の場としても活用されている。</li> <li>周辺には樹林や田畑等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>				
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場があり、30台駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に国道296号がある。</li> </ul>						
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川上流部の谷地及びその周囲に整備された公園であり、施設内の樹林等を眺望できるが、樹林等によって近隣の眺望は遮られている。</li> </ul>						
<利用状況>						
■利用者数						
時刻	利用者数（人）				イベント時	
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	(2017.05.14)	(2017.09.09)
9時	2	3	14	6	—	—
10時	1	85	14	4	63	—
11時	0	1	17	1		—
12時	13	2	23	8	—	—
13時	6	82	21	0	73	—
14時	9	11	17	0		—
15時	4	6	8	0		—
16時	4	2	4	2		—
17時	1	3	—	0	—	—
■利用状況写真						
 <p>夏季</p>			 <p>秋季</p>			

J)No.10 朝倉やすらぎの杜

朝倉やすらぎの杜は、A滑走路の南側に位置する公園である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~4人の利用者が確認され、利用者が非常に少ない地点であった。また、散歩等をしている人を確認した。

表 10.12.1-14 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（朝倉やすらぎの杜））

地点名		No.10 朝倉やすらぎの杜（設置者：NAA）			
＜利用環境＞		＜分布＞			
<p>■ 概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港A滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約2.4km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NAAの空港周辺緑化整備の一環として作られた、緑豊かな憩いの場である。</li> <li>1,500本余りの木々に囲まれた広場や設置してあるベンチに座って静かな時を過ごすことができるほか、木のチップが敷かれた既存林を活かした遊歩道で散歩できる。</li> <li>周辺には樹林や田畑等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■ 利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はない。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に国道296号がある。</li> </ul>					
<p>■ 快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存林を活用して整備された散歩路であり、敷地内の樹木等を眺望できるが、樹林等によって近隣の眺望は遮られている。</li> </ul>					
＜利用状況＞					
■ 利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	0	0	0	0	
10時	0	0	0	0	
11時	0	0	0	0	
12時	0	0	1	0	
13時	0	0	0	0	
14時	0	0	4	0	
15時	0	0	0	0	
16時	2	0	0	0	
17時	0	0	—	0	
■ 利用状況写真					
 <p>夏季</p>		 <p>冬季</p>			

カ)No.11 芝山湧水の里

芝山湧水の里は、B滑走路の南側に位置する湧水施設である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~2人の利用者が確認され、利用者が非常に少ない地点であった。また、休憩等をしている人を確認した。

表 10.12.1-15 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（芝山湧水の里））

地点名		No.11 芝山湧水の里（設置者：NAA）			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 B滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域内に位置する。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湧き水の採水を行うことができる。</li> <li>周辺には樹林や田畑等がある。</li> </ul>		<p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はあり、2台程度駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に芝山町道がある。国道や県道からはやや離れている。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周囲は主に樹林や田畑、集落等であり、眺望を遮る施設等は存在しない。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	0	1	0	0	
10時	0	2	1	0	
11時	1	0	0	0	
12時	0	0	2	0	
13時	0	0	0	0	
14時	0	0	0	0	
15時	2	0	0	0	
16時	0	0	0	0	
17時	0	0	—	0	
■利用状況写真					
<p>夏季</p>		<p>冬季</p>			

シ)No.12 大関台果樹園

大関台果樹園は、B滑走路の南側に位置する果樹園である。

4季調査では、毎時1回の測定において利用者は確認されなかった。

2016年度（平成28年度）には、NAA主催の栗拾いイベントが開催された。イベントには95人が参加し、利用者数は中程度であった。なお、参加者は、成田空港周辺の芝山町保育園の園児、職員及びNAA職員であった。

表 10.12.1-16 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（大関台果樹園））

地点名		No.12 大関台果樹園（設置者：NAA）			
		＜利用環境＞		＜分布＞	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 B 滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域内に位置する。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然と触れ合いながら果実の収穫を楽しむよう栗の木を植えている。毎年秋には地元の子供たちを招待し、収穫体験を行っている。</li> <li>周辺には樹林や田畑等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はあり、5台程度駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に芝山町道がある。国道や県道からはやや離れている。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周囲には主に樹林があり、眺望を遮る施設等は存在しない。</li> </ul>					
＜利用状況＞					
■利用者数					
利用者数（人）					
時刻	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	イベント時 (2017.10.07)
9時	0	0	0	0	95
10時	0	0	0	0	—
11時	0	0	0	0	—
12時	0	0	0	0	—
13時	0	0	0	0	—
14時	0	0	0	0	—
15時	0	0	0	0	—
16時	0	0	0	0	—
17時	0	0	—	0	—
■利用状況写真					
 <p>イベント時</p>		 <p>イベント時</p>			

λ)No.13 香山新田里山施設

香山新田里山施設は、B滑走路の南側に位置する施設である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~2人の利用者が確認され、利用者が非常に少ない地点であった。また、航空機の眺望や休憩等をしている人を確認した。

表 10.12.1-17 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（香山新田里山施設））

地点名		No.13 香山新田里山施設（設置者：NAA）			
＜利用環境＞		＜分布＞			
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港 B 滑走路の南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域内に位置する。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとの自然を楽しむことができる散策路が整備されている。</li> <li>周辺には樹林や田畑等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はあり、5台程度駐車可能。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に芝山町道がある。国道や県道からはやや離れている。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存林を活用して整備された散策路であり、敷地内の樹木等を眺望できるが、樹林等によって近隣の眺望は遮られている。</li> </ul>					
＜利用状況＞					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2016.08.21)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	0	0	1	0	
10時	0	0	1	1	
11時	0	2	0	0	
12時	0	0	0	2	
13時	0	0	0	0	
14時	0	0	0	0	
15時	0	0	0	0	
16時	0	0	0	0	
17時	0	0	—	0	
■利用状況写真					
 <p>秋季</p>			 <p>春季</p>		

㊦No.14 千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）

千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）は、成田空港北側の利根川沿いに位置するサイクリングロードである。

4季調査では、毎時1回の測定において0～27人の利用者が確認され、利用者が少ない地点であった。また、サイクリング等をしている人を確認した。

表 10.12.1-18 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（千葉県サイクリングロード））

地点名		No.14 千葉県サイクリングロード(409 佐原我孫子自転車道線) (所有者：千葉県)			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港北側の利根川沿いに位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約6.9km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田から佐原まで、北総台地の肥沃な畑作地帯や利根川の雄大な景色のなか、のんびりと巡る周回コース。前半は丘陵部となるため度々アップダウンが続くが、後半は利根川沿いのサイクリングロードを軽快に走り抜ける。</li> <li>調査区間外にあるサイクルステーションの中には、道の駅や農産物直売所などが設けられている施設も多数あり、北総路のサイクリングの楽しみも広がる。</li> <li>周辺には田畑や集落、樹林等がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はない。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道356号に面している。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には北側に利根川、南側に田畑、集落、樹林等があり、眺望を遮る施設は存在しない。</li> </ul> <p>【音環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年度における空港周辺の航空機騒音（通年測定）調査結果は「第7章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 7.1.1.気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況（3）騒音」に示すとおりであり、本地点の近傍に位置する新川局の年平均騒音レベルは67.4dBであった。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
		利用者数（人）			
時刻	夏季 (2017.08.06)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	5	2	2	0	
10時	10	4	3	0	
11時	2	8	10	0	
12時	0	9	3	0	
13時	2	4	3	3	
14時	2	3	27	0	
15時	0	3	3	0	
16時	2	4	2	0	
17時	0	0	—	2	
■利用状況写真					
 <p style="text-align: center;">秋季</p>		 <p style="text-align: center;">冬季</p>			

リ)No.15 マリンピアくりやまがわ

マリンピアくりやまがわは、成田空港南側の太平洋沿いに位置する公園である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~103人の利用者が確認され、利用者が多い地点であった。また、休憩や宴会等をしている人を確認した。

表 10.12.1-19 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（マリンピアくりやまがわ））

地点名		No.15 マリンピアくりやまがわ（所有者：横芝光町）			
		<利用環境>		<分布>	
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港南側の太平洋沿いに位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約15.3km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九十九里海岸のほぼ中央に位置する屋形海岸にあり、緩傾斜護岸に整備された広い敷地の公園で、1991~1997年度（平成3~9年度）までの7年間に要して完成した。緑地広場約1万m<sup>2</sup>、園路遊歩道が3千m<sup>2</sup>ある。</li> <li>公園緑地は地域住民の憩いの場として、夏季は海水浴等の海浜レクリエーション利用に最適であり、海水浴客で賑わう。河口付近は釣りの人気ポイントとして知られている。</li> <li>展望台からは打寄せる荒波や水平線が眺望できる。5~6月にはハマヒルガオが花を咲かす。</li> <li>周辺には北側に樹林等、南側に九十九里浜、太平洋がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>			
<p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はあり、50台駐車可能。夏季には臨時駐車場も開放される。</li> <li>駐車場は「No.16 屋形海水浴場」の利用者も使用する。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に県道飯岡一宮線、県道横芝上塚線がある。</li> </ul>					
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には北側に樹林等、南側に九十九里浜、太平洋があるが、施設内の樹林によって北側の眺望は遮られている。</li> <li>展望台からは、九十九里浜や太平洋を眺望することができる。</li> </ul> <p>【音環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年度における空港周辺の航空機騒音（通年測定）調査結果は「第7章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 7.1.1.気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況（3）騒音」に示すとおりであり、本地点の近傍に位置する蓮沼局の年平均騒音レベルは65.1dBであった。</li> </ul>					
<利用状況>					
■利用者数					
時刻	利用者数（人）				
	夏季 (2017.08.06)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)	
9時	28	8	4	0	
10時	46	2	1	0	
11時	48	5	3	0	
12時	103	5	2	0	
13時	77	4	0	0	
14時	85	5	3	4	
15時	60	8	6	0	
16時	30	5	5	0	
17時	13	0	—	0	
■利用状況写真					
 <p style="text-align: center;">夏季</p>			 <p style="text-align: center;">秋季</p>		

7)No.16 屋形海水浴場

屋形海水浴場は、成田空港南側の太平洋沿いに位置する海水浴場である。

4季調査では、毎時1回の測定において0~203人の利用者が確認され、利用者が多い地点であった。また、サーフィンや海水浴等をしている人を確認した。

表 10.12.1-20 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（屋形海水浴場））

地点名	No.16 屋形海水浴場（所有者：千葉県）			
＜利用環境＞		＜分布＞		
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港南側の太平洋沿いに位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約15.6km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋を望む九十九里浜（県立九十九里自然公園）のほぼ中央に位置するビーチである。ビーチの長さは110m。</li> <li>荒海ながらも遠浅で、年間を通してサーフィンを楽しむ方や、夏季の海水浴シーズンには子供連れや若者で賑わう。</li> <li>周辺には北側に樹林等、南側に九十九里浜、太平洋がある。</li> </ul> <p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はあり、50台駐車可能。夏季には臨時駐車場も開放される。</li> <li>駐車場は「No.15 マリンピアくりやまがわ」の利用者も使用する。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に県道飯岡一宮線、県道横芝上堺線がある。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>		
<p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には北側に樹林等、南側に九十九里浜、太平洋があり、眺望を遮る高い施設等は存在しない。</li> </ul> <p>【音環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年度における空港周辺の航空機騒音（通年測定）調査結果は「第7章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 7.1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況（3）騒音」に示すとおりであり、本地点の近傍に位置する蓮沼局の年平均騒音レベルは65.1dBであった。</li> </ul>				
＜利用状況＞				
■利用者数				
	利用者数（人）			
時刻	夏季 (2017.08.06)	秋季 (2016.10.22)	冬季 (2017.01.22)	春季 (2017.04.08)
9時	105	48	21	2
10時	172	40	19	0
11時	188	27	11	1
12時	139	18	8	0
13時	171	22	5	0
14時	193	21	5	0
15時	203	14	8	0
16時	38	12	8	2
17時	28	3	—	6
■利用状況写真				
 <p>夏季</p>		 <p>冬季</p>		

フ)No.17 坂田城跡梅林

坂田城跡梅林は、成田空港南側に位置する梅林である。

2017年度（平成29年度）には、横芝光町主催の梅まつりイベントが開催された。

イベントには毎時1回の測定において88～742人の利用者が確認され、利用者数は非常に多かった。

表 10.12.1-21 現地調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場の概況（坂田城跡梅林））

地点名		No.17 坂田城跡梅林（所有者：千葉県）		
		<利用環境>		<分布>
<p>■概況</p> <p>【位置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港南側に位置する。</li> <li>新たに空港となる区域までの距離は約7.1km。</li> </ul> <p>【特徴等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>坂田城跡にある梅林は県下最大級の梅林で、凛とした純白の花を咲かせる1,000本の巨木がある。梅林は、観賞用ではなく、農家の方が梅の出荷用に栽培している。</li> <li>周辺には住宅や田畑等がある。</li> </ul> <p>■利用性</p> <p>【駐車場の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場はあり、100台駐車可能。冬季の梅まつり開催時には臨時駐車場も開放される。</li> </ul> <p>【アクセスルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>付近に銚子連絡道路、県道横芝下総線がある。</li> </ul> <p>■快適性</p> <p>【眺望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣には住宅や田畑等があるが、施設内の樹林によって眺望は遮られている。</li> </ul> <p>【音環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年度における空港周辺の航空機騒音（通年測定）調査結果は「第7章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 7.1.1.気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況 (3)騒音」に示すとおりであり、本地点の近傍に位置する横芝局の年平均騒音レベルは67.0dBであった。</li> </ul>		 <p>調査地点位置</p>		
<利用状況>				
■利用者数				
		利用者数（人）		
時刻	夏季	秋季	冬季	イベント時 (2018.03.03)
9時				88
10時				351
11時				709
12時				742
13時	—	—	—	518
14時				521
15時				414
16時				127
17時				—
■利用状況写真				
 <p>イベント時</p>		 <p>イベント時</p>		

## (2) 予測

### 1) 予測事項

土地又は工作物の存在の供用による影響要因と予測項目については、表 10.12.1-22 に示すとおりである。

表 10.12.1-22 予測項目

項目	影響要因	予測項目
土地又は工作物の存在の供用	飛行場の存在及び航空機の運航	ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度
		イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化
		ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

### 2) 予測概要

人と自然との触れ合いの活動の場の予測概要は、表 10.12.1-23 に示すとおりである。

表 10.12.1-23 予測の概要

予測の概要	
予測項目	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度、利用性の変化、快適性の変化
予測手法	主要な人と自然との触れ合いの活動の場と対象事業実施区域との重ね合わせ等により予測する方法とした。
予測地域・地点	飛行場の存在により主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると考えられる地域とし、調査地域と同様とした。予測地点は、調査地点と同様とした。
予測対象時期等	新設及び延長する滑走路が供用を開始し、航空機の発着回数が50万回に達した時点とした。

### 3) 予測方法

人と自然との触れ合いの活動の場の予測方法は、図 10.12.1-3 に示すとおりである。

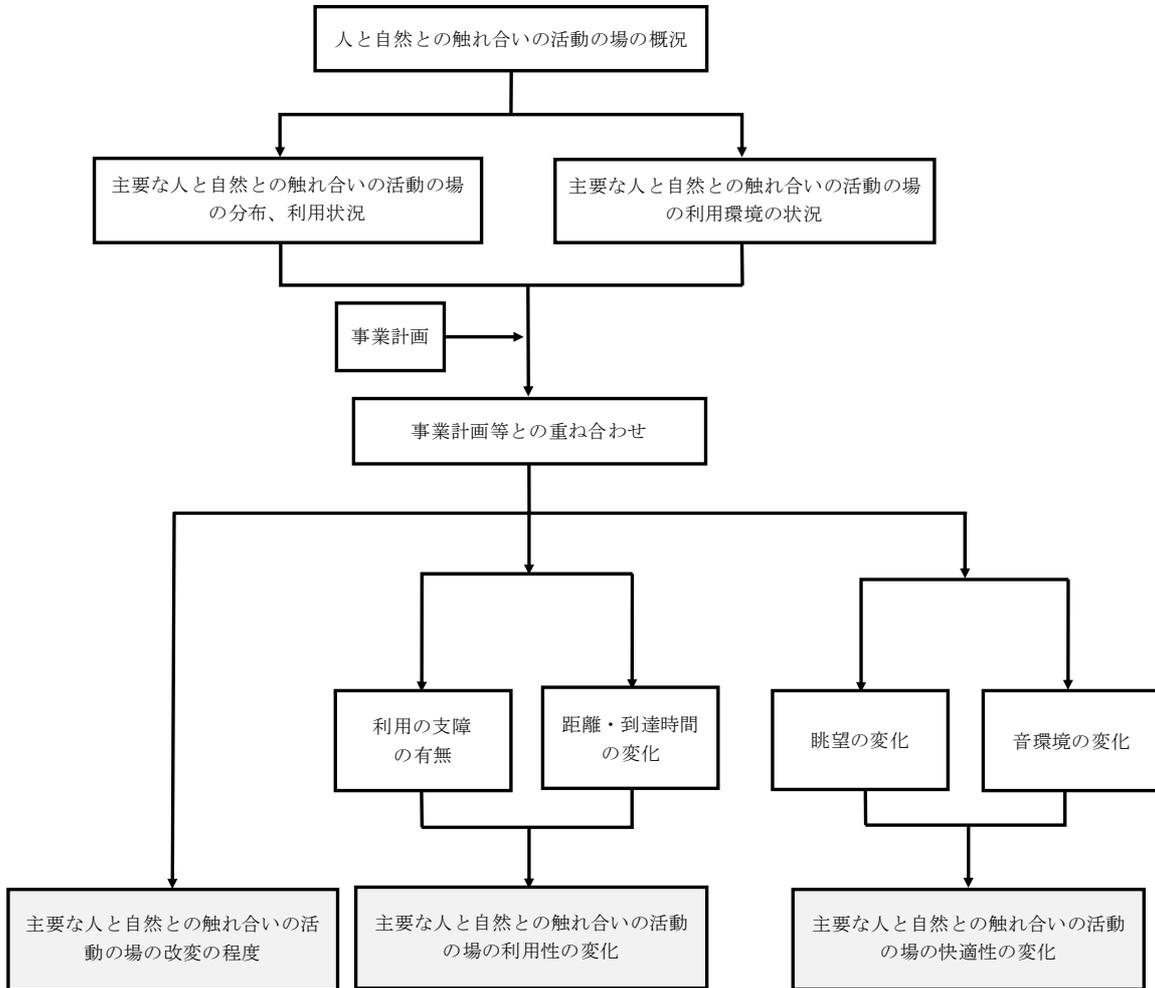


図 10.12.1-3 予測フロー図

#### ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度

人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況と対象事業実施区域を重ね合わせ、改変の有無及び程度について予測した。

予測は調査地点 17 地点とその周辺を対象とし、予測対象時期は航空機の発着回数が 50 万回に達した時点とした。

#### イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化について、利用の支障の有無、到達時間・距離の変化の有無及び程度について予測した。利用の支障については駐車場台数の変化を予測した。到達時間・距離の変化については場に近接する道路の改変の有無及び交通量の変化を予測した。

予測は調査地点 17 地点とその周辺を対象とし、予測対象時期は、「ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度」と同様とした。

#### ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化について、眺望、音環境の変化の有無及び程度について予測した。眺望については人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況と対象事業実施区域との重ねあわせにより変化を予測した。音環境については、人と自然との触れ合いの活動の場と飛行コース又は滑走路との距離から、最大騒音レベルの変化の程度について予測した。

予測は調査地点 17 地点とその周辺を対象とし、予測対象時期は、「ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度」と同様とした。

#### 4) 予測結果

各地点における予測結果の概要を、表 10.12.1-24 に示すとおりである。

「No.11 芝山湧水の里」、「No.12 大関台果樹園」及び「No.13 香山新田里山施設」については、場の消失によって影響が生じると予測する。

「No.2 里山遊歩道」及び「No.3 場外放水路水辺環境」については、景観に関して影響が生じると予測する。

「No.14 千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）」、「No.15 マリンピアくりやまがわ」、「No.16 屋形海水浴場」及び「No.17 坂田城跡梅林」については、音環境に関して影響が生じると予測する。

表 10.12.1-24 調査結果、予測結果の概要

No.	地点名	調査結果	予測結果 <sup>※2</sup>			影響の有無 <sup>※3</sup>
		年間の利用者数の状況 <sup>※1</sup>	改変の程度	の利変用化性	の快変適化性	
1	十余三 東雲の丘	多い	○	○	○	無
2	里山遊歩道	少ない	○	○	△	景観に関して影響が生じる
3	場外放水路水辺環境	非常に少ない	○	○	△	
4	さくらの山	非常に多い	○	○	○	
5	南三里塚遊歩道	少ない	○	○	○	無
6	三里塚さくらの丘	多い	○	○	○	無
7	ひこうきの丘	多い	○	○	○	無
8	芝山水辺の里	少ない	○	○	○	無
9	グリーンポート エコ・アグリパーク	中程度	○	○	○	無
10	朝倉やすらぎの杜	非常に少ない	○	○	○	無
11	芝山湧水の里	非常に少ない	×	—	—	場の消失によって影響が生じる
12	大関台果樹園	中程度	×	—	—	
13	香山新田里山施設	非常に少ない	×	—	—	
14	千葉県サイクリング ロード（409 佐原我孫子 自転車道線）	少ない	○	○	△	音環境に関して影響が生じる
15	マリンピアくりやまがわ	多い	○	○	△	
16	屋形海水浴場	多い	○	○	△	
17	坂田城跡梅林	非常に多い	○	○	△	

※1 他地点と比較し、最大利用者数が特に多かったさくらの山と坂田城跡梅林は「非常に多い」とし、これらの地点を除いた 15 地点については以下のとおり区分した。

非常に少ない：0～10 人、少ない：11～50 人、中程度：51～100 人、多い：101～250 人

※2 以下のとおり区分した。

・改変の程度

○（ほぼ変化が無い）：事業の実施による場の改変が生じない又はほとんど生じない。

×（場が消失する）：事業の実施によって場が消失する。

・利用性の変化

○（ほぼ変化が無い）：場の改変が生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障が生じない。また、周辺の主要な道路の交通量の変化が無い又は変化が小さく、距離・到達時間が変化しない。  
—：場が消失するため予測不可。

・快適性の変化

○（ほぼ変化が無い）：眺望景観が変化しない又は変化が小さい。最大騒音レベルが変化しない。

△（変化がある）：眺望景観に変化がある。最大騒音レベルが変化する。

—：場が消失するため予測不可。

※3 無：ほぼ影響が無い。

## 7.No.1 十余三 東雲の丘

予測結果は、表 10.12.1-25 に示すとおりである。

十余三 東雲の丘では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-25 予測結果（十余三 東雲の丘）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・事業の実施による国道 51 号等の周辺道路の改変は生じない。また、将来交通量の推計結果は参考資料 表 1.1-2 に示すとおりであり、国道 51 号線の交通量は約 19,700 台/日から約 24,000 台/日へ増加するが、変化の程度は小さい（参考資料 1.1-3 ページ参照） <sup>※2</sup> 。これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・眺望の変化は、「第 10 章 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果 10.11. 景観」に示すとおりである。事業の実施により、場からの眺望に対し圧迫感を感じるような構造物等は設置しないため、眺望の変化は小さい。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

## 1. No.2 里山遊歩道

予測結果は、表 10.12.1-26 に示すとおりである。

里山遊歩道では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化はほとんど生じないと予測する。主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性については、一部眺望の変化が生じると予測する。

表 10.12.1-26 予測結果（里山遊歩道）

予測項目	予測結果※	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場は存在しないことから、利用の支障は生じない。 ・里山遊歩道の利用者のほとんどが徒歩であると考えられるため、付近の道路の改変や交通量の変化による影響は受けない。そのため、里山遊歩道への距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	△	・里山遊歩道の一部である水路沿いの遊歩道から、A区域の法面が視認できるようになる。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※ ○：ほぼ変化が無い、 △：変化がある、 ×：場が消失する、 -：場が消失するため予測不可

### ウ.No.3 場外放水路水辺環境

予測結果は、表 10.12.1-27 に示すとおりである。

場外放水路水辺環境では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化はほとんど生じないと予測する。主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性については、一部眺望の変化が生じると予測する。

表 10.12.1-27 予測結果（場外放水路水辺環境）

予測項目	予測結果※	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場は存在しないことから、利用の支障は生じない。 ・場外放水路の利用者のほとんどが徒歩であると考えられるため、付近の道路の改変や交通量の変化による影響は受けない。そのため、里山遊歩道及び場外放水路水辺環境への距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	△	・場外放水路水辺環境の一部である水路沿いの遊歩道から、A区域の法面が視認できるようになる。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※ ○：ほぼ変化が無い、 △：変化がある、 ×：場が消失する、 -：場が消失するため予測不可

## I. No.4 さくらの山

予測結果は、表 10.12.1-28 に示すとおりである。

さくらの山では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-28 予測結果（さくらの山）

予測項目	予測結果※1	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・事業の実施による県道成田小見川鹿島港線等の周辺道路の改変は生じない。また、将来交通量の推計結果は参考資料 表 1.1-2 に示すとおりであり、県道成田小見川鹿島港線の交通量は増加しない見込みである（参考資料 1.1-3 ページ参照）※2。 これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・眺望の変化は、「第 10 章 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果 10.11. 景観」に示すとおりである。事業の実施により、場からの眺望に対し圧迫感を感じるような構造物等は設置しないため、眺望の変化は小さい。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

㏲. No.5 南三里塚遊歩道

予測結果は、表 10.12.1-29 に示すとおりである。

南三里塚遊歩道では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-29 予測結果（南三里塚遊歩道）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数（三里塚さくらの丘の駐車場）も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・県道成田松尾線は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、三里塚を通る区間については改変しない。国道 296 号は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、現在とほぼ同じ位置に付替え道路を整備する。また、将来交通量の推計結果は参考資料 表 1.1-2 に示すとおりであり、国道 296 号の交通量は増加しない見込みである（参考資料 1.1-3 ページ参照） <sup>※2</sup> 。これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・事業の実施により、場の周辺に眺望を遮る施設等は設置しない。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

カ.No.6 三里塚さくらの丘

予測結果は、表 10.12.1-30 に示すとおりである。

三里塚さくらの丘では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-30 予測結果（三里塚さくらの丘）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・県道成田松尾線は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、三里塚を通る区間については改変しない。国道 296 号は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、現在とほぼ同じ位置に付替え道路を整備する。また、将来交通量の推計結果は参考資料表 1.1-2 に示すとおりであり、国道 296 号の交通量は増加しない見込みである（参考資料 1.1-3 ページ参照） <sup>※2</sup> 。これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・眺望の変化は、「第 10 章 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果 10.11. 景観」に示すとおりである。事業の実施により、場からの眺望に対し圧迫感を感じるような構造物等は設置しないため、眺望の変化は小さい。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

## ㊦.No.7 ひこうきの丘

予測結果は、表 10.12.1-31 に示すとおりである。

ひこうきの丘では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-31 予測結果（ひこうきの丘）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・県道成田松尾線は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、三里塚を通る区間については改変しない。国道 296 号は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、現在とほぼ同じ位置に付替え道路を整備する。また、将来交通量の推計結果は参考資料 表 1.1-2 に示すとおりであり、国道 296 号の交通量は増加しない見込みである（参考資料 1.1-3 ページ参照） <sup>※2</sup> 。これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

## ク.No.8 芝山水辺の里

予測結果は、表 10.12.1-32 に示すとおりである。

芝山水辺の里では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-32 予測結果（芝山水辺の里）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・県道成田松尾線は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、三里塚を通る区間については改変しない。国道 296 号は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、現在とほぼ同じ位置に付替え道路を整備する。また、将来交通量の推計結果は参考資料表 1.1-2 に示すとおりであり、国道 296 号の交通量は増加しない見込みである（参考資料 1.1-3 ページ参照） <sup>※2</sup> 。これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

#### カ.No.9 グリーンポート エコ・アグリパーク

予測結果は、表 10.12.1-33 に示すとおりである。

グリーンポート エコ・アグリパークでは、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-33 予測結果（グリーンポート エコ・アグリパーク）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場台数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・国道 296 号は、対象事業実施区域と重なる区間があるが、現在とほぼ同じ位置に付替え道路を整備する。また、将来交通量の推計結果は参考資料 表 1.1-2 に示すとおりであり、国道 296 号の交通量は増加しない見込みである（参考資料 1.1-3 ページ参照） <sup>※2</sup> 。これらのことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 参考資料 表 1.1-2 に示す交通量推計結果のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の各予測地点に近い地点での値を用いた。

#### ク.No.10 朝倉やすらぎの杜

予測結果は、表 10.12.1-34 に示すとおりである。

朝倉やすらぎの杜では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。

表 10.12.1-34 予測結果（朝倉やすらぎの杜）

予測項目	予測結果 <sup>※</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場は存在しないことから、利用の支障は生じない。 ・朝倉やすらぎの杜の利用者のほとんどが徒歩であると考えられるため、付近の道路の改変や交通量の変化による影響は受けない。そのため、朝倉やすらぎの杜への距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	○	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・滑走路と場の位置は変化しないため、最大騒音レベルは変化しない。

※ ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

サ.No.11 芝山湧水の里

予測結果は、表 10.12.1-35 に示すとおりである。

芝山湧水の里は、事業の実施によって場が消失する。

表 10.12.1-35 予測結果（芝山湧水の里）

予測項目	予測結果※	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	×	・事業の実施によって場が消失する。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	—	・事業の実施によって場が消失するため、予測することはできない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	—	・事業の実施によって場が消失するため、予測することはできない。

※ ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、—：場が消失するため予測不可

シ.No.12 大関台果樹園

予測結果は、表 10.12.1-36 に示すとおりである。

大関台果樹園は、事業の実施によって場が消失する。

表 10.12.1-36 予測結果（大関台果樹園）

予測項目	予測結果※	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	×	・事業の実施によって場が消失する。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	—	・事業の実施によって場が消失するため、予測することはできない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	—	・事業の実施によって場が消失するため、予測することはできない。

※ ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、—：場が消失するため予測不可

ス.No.13 香山新田里山施設

予測結果は、表 10.12.1-37 に示すとおりである。

香山新田里山施設は、事業の実施によって場が消失する。

表 10.12.1-37 予測結果（香山新田里山施設）

予測項目	予測結果※	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	×	・事業の実施によって場が消失する。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	—	・事業の実施によって場が消失するため、予測することはできない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	—	・事業の実施によって場が消失するため、予測することはできない。

※ ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、—：場が消失するため予測不可

㊦. No.14 千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）

予測結果は、表 10.12.1-38 に示すとおりである。

千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化はほとんど生じないと予測する。快適性については、B滑走路の延伸に伴い、千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）の一部において騒音の増加が見込まれる。

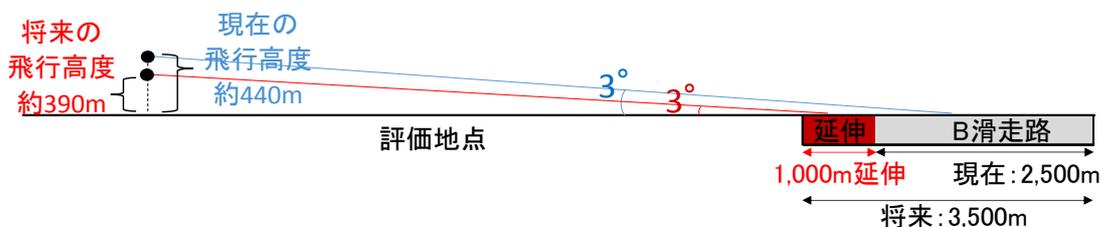
表 10.12.1-38 予測結果（千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線））

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場は存在しないことから、利用の支障は生じない。 ・事業の実施による国道 356 号等の周辺道路の改変及び交通量の変化は生じないことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	△	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・事業の実施により、航空機の飛行高度が低くなるため、最大騒音レベルが 1dB 程度大きくなる <sup>※2</sup> 。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 現在及び将来の飛行高度から、騒音の距離減衰量の変化の程度を推計した（模式図参照）。

<模式図>



リ.No.15 マリンピアくりやまがわ

予測結果は、表 10.12.1-39 に示すとおりである。

マリンピアくりやまがわでは、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化はほとんど生じないと予測する。快適性については、C滑走路の整備に伴い、マリンピアくりやまがわにおける騒音の増加が見込まれる。

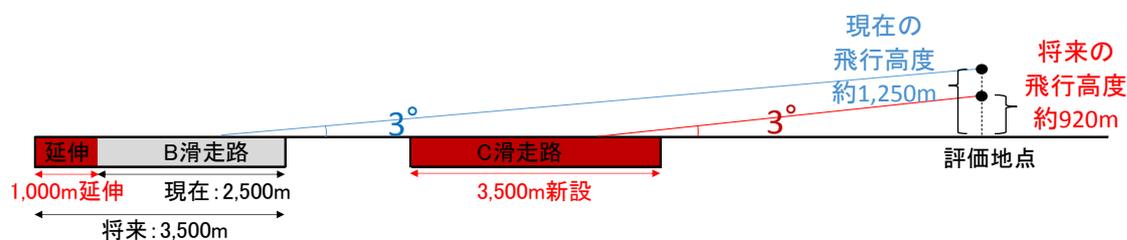
表 10.12.1-39 予測結果（マリンピアくりやまがわ）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場合数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・事業の実施による県道飯岡一宮線（九十九里ビーチライン）、県道横芝上塚線等の周辺道路の改変及び交通量の変化は生じないことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	△	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・事業の実施により、航空機の飛行高度が低くなるため、最大騒音レベルが3dB程度大きくなる <sup>※2</sup> 。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 現在及び将来の飛行高度から、騒音の距離減衰量の変化の程度を推計した（模式図参照）。

<模式図>



## 9. No.16 屋形海水浴場

予測結果は、表 10.12.1-40 に示すとおりである。

屋形海水浴場では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化はほとんど生じないと予測する。快適性については、C滑走路の整備に伴い、屋形海水浴場における騒音の増加が見込まれる。

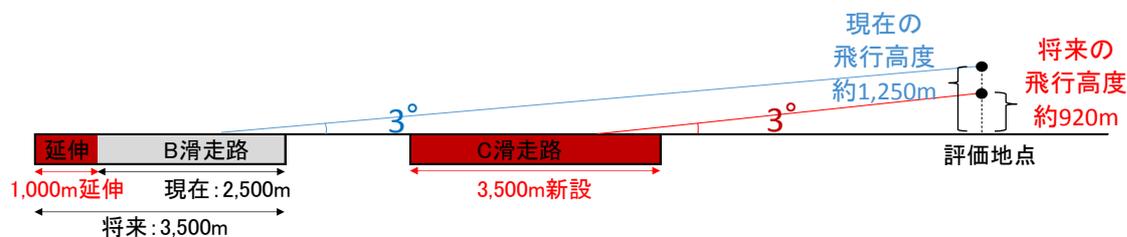
表 10.12.1-40 予測結果（屋形海水浴場）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場合数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・事業の実施による県道飯岡一宮線（九十九里ビーチライン）、県道横芝上塚線等の周辺道路の改変及び交通量の変化は生じないことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	△	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・事業の実施により、航空機の飛行高度が低くなるため、最大騒音レベルが3dB程度大きくなる <sup>※2</sup> 。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 現在及び将来の飛行高度から、騒音の距離減衰量の変化の程度を推計した（模式図参照）。

<模式図>



フ. No.17 坂田城跡梅林

予測結果は、表 10.12.1-41 に示すとおりである。

坂田城跡梅林では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変、利用性の変化はほとんど生じないと予測する。快適性については、C滑走路の整備に伴い、坂田城跡梅林における騒音の増加が見込まれる。

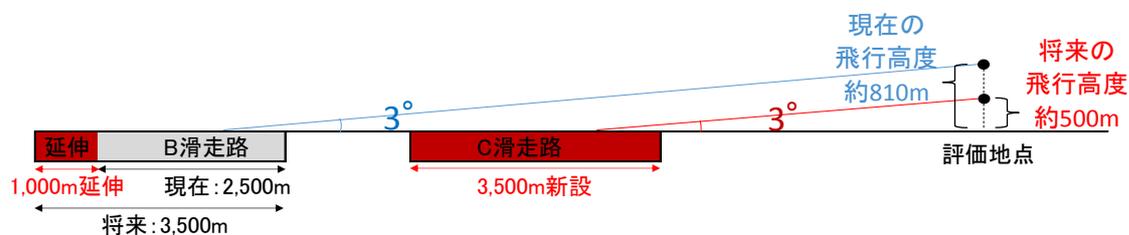
表 10.12.1-41 予測結果（坂田城跡梅林）

予測項目	予測結果 <sup>※1</sup>	
ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度	○	・事業の実施による場の改変は生じない。
イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化	○	・場の改変は生じず、駐車場合数も変化しないことから、利用の支障は生じない。 ・事業の実施による銚子連絡道路等の周辺道路の改変及び交通量の変化は生じないことから、距離・到達時間は変化しない。
ウ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化	△	・事業の実施により、場からの眺望は変化しない。 ・事業の実施により、航空機の飛行高度が低くなるため、最大騒音レベルが4dB程度大きくなる <sup>※2</sup> 。

※1 ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、－：場が消失するため予測不可

※2 現在及び将来の飛行高度から、騒音の距離減衰量の変化の程度を推計した（模式図参照）。

<模式図>



### (3) 環境保全措置

#### 1) 環境保全措置の検討の状況

予測の結果を踏まえ、環境影響をできる限り回避又は低減することを目的として、表 10.12.1-42 に示すとおり、環境保全措置の検討を行った。

表 10.12.1-42 環境保全措置の検討の状況

環境保全措置の種類	環境保全措置の内容
法面の草本緑化	周辺の緑と調和するよう法面の緑化を行う。
既存施設の整備、活用の推進	グリーンポート エコ・アグリパークのような、農業体験を行うことができる既存施設の整備、活用の推進により、子供を対象とした農業体験イベントも継続的に実施する。 既に NAA が空港周辺に整備している散策路等の既存施設の整備、活用を推進する。
類似施設の新設	消失する人と自然との触れ合いの活動の場の類似施設を新設する。
低騒音型航空機の導入促進	成田航空機騒音インデックス別国際線着陸料金制度の継続により、新型機材などの低騒音型航空機の導入を促進する。

#### 2) 検討結果の整理

検討の結果、実施することとした環境保全措置は、表 10.12.1-43 に示すとおりである。

表 10.12.1-43 環境保全措置の検討結果

環境保全措置の種類	環境保全措置の内容	期待される効果	予測への反映※
法面の草本緑化	周辺の緑と調和するよう法面の緑化を行う。	色彩の変化を低減するとともに、まとまりのある景観の形成を図ることにより、景観への影響を低減する。	×
既存施設の整備、活用の推進	グリーンポート エコ・アグリパークのような、農業体験を行うことができる既存施設の整備、活用の推進により、子供を対象とした農業体験イベントも継続的に実施する。 既に NAA が空港周辺に整備している散策路等の既存施設の整備、活用を推進する。	既存施設の整備、活用の推進により、人と自然との触れ合いの活動の場の活用の推進を図る。	×
類似施設の新設	消失する人と自然との触れ合いの活動の場の類似施設を新設する。	消失する場で行われていた活動が継続的に実施できるようになる。	×
低騒音型航空機の導入促進	成田航空機騒音インデックス別国際線着陸料金制度の継続により、新型機材などの低騒音型航空機の導入を促進する。	低騒音型航空機の導入が進むことによって、発生源対策として航空機騒音の低減が見込まれる。	○

※ 予測への反映欄の記号の凡例

○ 現状を上回る程度 of 取組を実施するものとして、予測条件に反映した措置  
△ 現状と同程度 of 取組を実施するものとして、予測条件に反映した措置（現状を上回る程度 of 取組までは見込んでいない）

× 定量化が難しいため、予測に見込んでいない措置

各地点に講じる環境保全措置は、表 10.12.1-44 に示すとおりである。

「No.2 里山遊歩道」、「No.3 場外放水路水辺環境」は、快適性の変化において眺望の変化が生じるものの、周辺の緑と調和するよう法面の緑化を行うことで、色彩の変化を低減するとともに、まとまりのある景観の形成を図る。

「No.12 大関台果樹園」は、事業の実施により場が消失するものの、「グリーンポート エコ・アグリパーク」のように農業体験を行うことができる施設を既に整備しており、その既存施設の整備、活用の推進により、子供を対象とした農業体験イベントを継続的に実施する。なお、既存施設の整備、活用に際しては、関係する市町、地域団体、地域住民等の外部ステークホルダーと可能な限り連携をして取り組む。

「No.13 香山新田里山施設」は、事業の実施により場が消失するものの、既に NAA が空港周辺に整備している散策路等の既存施設の整備、活用を推進する。

「No.11 芝山湧水の里」については、事業の実施により場が消失するものの、類似施設の新設により活動が継続的に実施できるよう検討を行う。代替施設は湧水の湧出状況等を勘案し、図 10.12.1-4 に示す位置の近傍に設置することを検討している。

「No.14 千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）」、「No.15 マリンピアくりやまがわ」、「No.16 屋形海水浴場」及び「No.17 坂田城跡梅林」は、快適性の変化において音環境の変化が生じるものの、低騒音型航空機の導入促進等といった航空機騒音の発生源対策をこれまでに引き続き実施し、航空機騒音の影響低減に努める。

その他の地点についても、いずれも空港周辺に位置することから、事業の実施に際しては、周辺の緑と調和するよう法面の緑化を行うことで、色彩の変化を低減するとともに、まとまりのある景観の形成を図る。また航空機騒音の発生源対策をこれまでに引き続き実施し、航空機騒音の影響低減に努める。これらにより場の快適性の維持・向上に努める。

表 10.12.1-44 講じる環境保全措置

No.	地点名	調査結果	予測結果※			特に講じる環境保全措置
		年間の最大利用者数の状況	変更の程度	利用性の変化	快適性の変化	
2	里山遊歩道	少ない	○	○	△	法面の草本緑化により、景観への影響を低減する。
3	場外放水路水辺環境	非常に少ない	○	○	△	
11	芝山湧水の里	非常に少ない	×	—	—	類似施設の新設により活動が継続的に実施できるよう検討を行う。
12	大関台果樹園	中程度	×	—	—	既存施設の整備、活用の推進により、人と自然との触れ合いの活動の場の活用の推進を図る。
13	香山新田里山施設	非常に少ない	×	—	—	
14	千葉県サイクリングロード（409 佐原我孫子自転車道線）	少ない	○	○	△	低騒音型航空機の導入促進により、航空機騒音の影響低減に努める。
15	マリンピアくりやまがわ	多い	○	○	△	
16	屋形海水浴場	多い	○	○	△	
17	坂田城跡梅林	非常に多い	○	○	△	

※ ○：ほぼ変化が無い、△：変化がある、×：場が消失する、—：場が消失するため予測不可

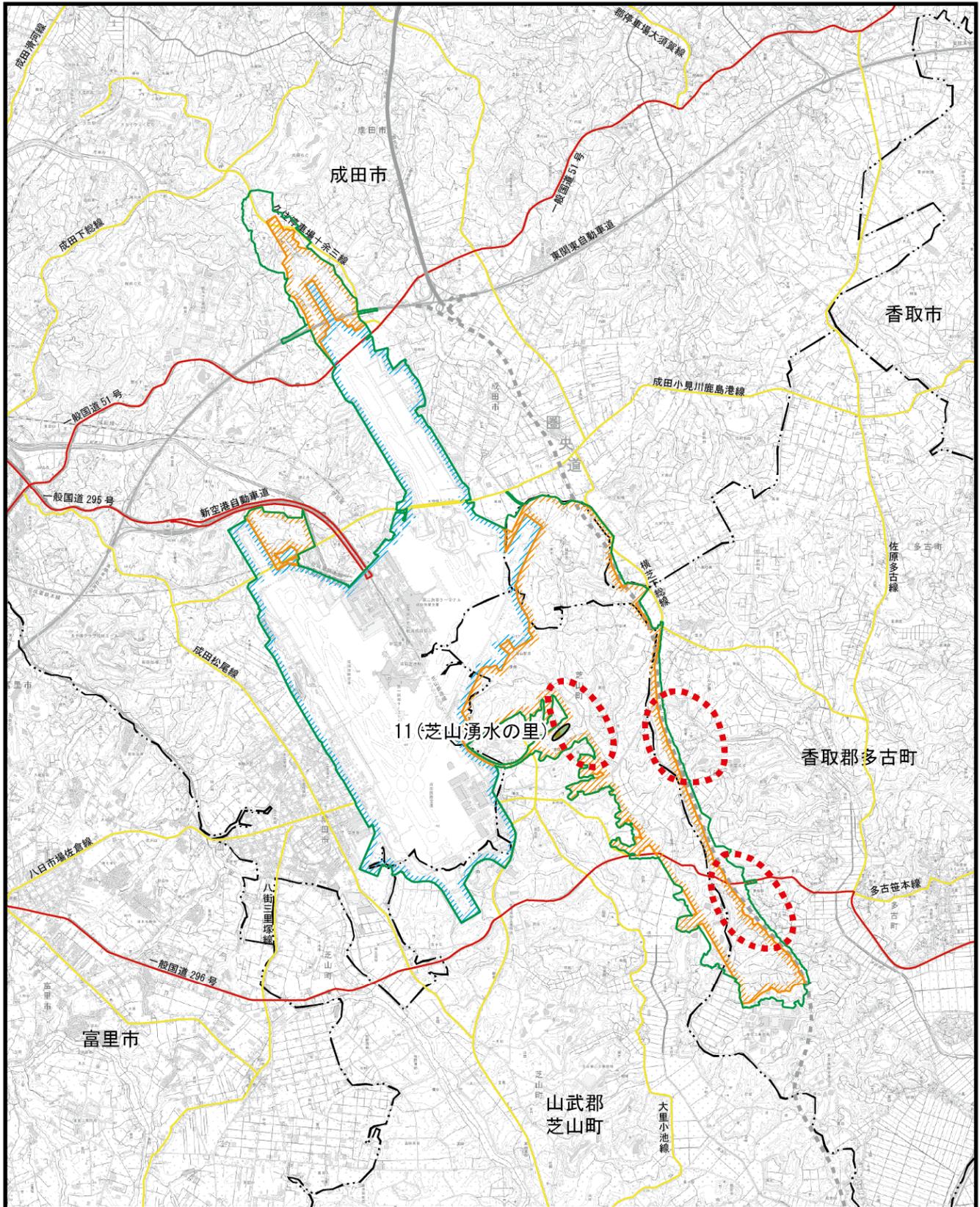


図10.12.1-4 代替施設検討位置図

凡 例

- 空港区域
- 新たに空港となる区域
- 対象事業実施区域
- 市町村界
- 消失する人と自然との触れ合い活動の場 (1地点)
- 代替施設検討位置 (3ヶ所)



#### (4) 事後調査

採用した予測手法は、その予測精度に係る知見が十分に蓄積されていると判断でき、予測の不確実性は小さい。また、採用した環境保全措置については、効果に係る知見が十分に蓄積されていると判断でき、効果の不確実性は小さい。

よって、事後調査は行わないものとした。しかし、現況に比べて環境影響が拡大することから環境監視調査を実施する。

#### (5) 評価

##### 1) 回避又は低減に係る評価

評価は、飛行場の存在及び航空機の運航による主要な人と自然との触れ合いの活動の場に関する環境影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、又は低減されているか、事業者の見解を明らかにすることにより行った。

本事業は、計画段階環境配慮制度に基づき、位置等の複数案の検討段階から、良好な生活環境を保持するため、できる限り市街地・集落を避けた計画としており、事業実施想定区域に人と自然との触れ合いの活動の場が存在するものの、詳細は方法書以降の環境影響評価において検討するとしていた。

予測の結果、3 地点が飛行場の存在により消失するほか、改変の程度及び利用性の変化については、ほぼ変化がないものの、快適性については 2 地点で眺望景観が、4 地点で音環境に変化があると予測された。

そのため、環境影響をより低減するための環境保全措置として、周囲の緑と調和するよう法面の草本緑化、低騒音型航空機の導入促進を実施するとともに、消失する地点については、既存施設の整備、活用の推進、類似施設の新設を代償措置として講じ、現況調査結果から著しく環境を悪化させないよう努めることとしている。

以上のことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内で、できる限り回避又は低減が図られていると評価する。